
White lily

ゴツボ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

White lily

【Nコード】

N1727M

【作者名】

ゴツボ

【あらすじ】

少女達による青春の日々

入学式その?：登校

AM 6：49

「今日は可愛い女の子がいっぱい入ってくるって考えると・・・ぐふふっ」

朝早くからカーディガンを着た少女が親父みたいな発言をしている。他から見ると顔が整っていて綺麗なのに、どうしてこのような発言しかできないんだろう・・・

でもこんな奴でも私は好きになってしまったんだからしょうがないか。

「うん！やっぱり香織の笑った顔は大好きだね。でもでも、いつもの凛々しい顔も好きだけど」

どうも私はいつの間にか笑っていたようだ。

「あら、私も早百合が笑った顔は大好きよ」

「ありがとう。じゃあ行こうか」

早百合が私の手を取って走り出した。

AM 7：12

「おはよう」

「芽衣ちゃんおはよ」

ああ

朝からこんな可愛い幼馴染に会えるなんて・・・

「おーい?」

「お〜い？」

うわぁ

可愛い顔が近くに！

「芽衣ちゃん？」

ぎゅっっ！！

「いたたたたっ！？ど、どうしたの？美雪」

「芽衣ちゃん寝てたから起こそうと思って」

「美雪じゃないんだからこんなところで寝れないよ」

「いくら私でももう少し暖かくなしないと寝れないよ〜」

・・・やっぱり寝れるじゃん。

A M 7 : 2 0

ただいまA M 7 : 2 0。

今日は入学式！

念願の女子高に入学できたのだ。

ちなみに私が女子高に入れたかった理由はひとつだけなのだがこれを言ってしまったらたぶん皆に引かれるだろう。

だからこれについてはがんばって表に出さないようにしよう。

・・・と決めてきたところだが。

私の目の前でかっこいい少女と可愛い少女がじゃれているではないか！！

よだれが出そうだがここは我慢しなくては・・・

少女達はこの駅で降りるのか。

・・・ん、この駅って！？

「すいません！！降ります！降ります！！」
危うく少女達に心を奪われてしまうところだった。

AM7:38

「はあ、なんで入学式に出席しないといけないのから？」
私の主が目の前で大きなため息をついた。
いつものことだ。

「お嬢様、別に帰ってもいいんですよ？そのかわり昼食はありませんが」

「うう、それは嫌ね」

「なら学校に行くしかないですよ？」

「わかったわよ。そのかわり昼食はうんと豪華に！！」

「はあ・・・わかりました」

いつもどりの会話をしながら涼ヶ丘女学園の門をくぐる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1727m/>

White lily

2010年10月11日07時51分発行